

2025年度
入 学 試 験 問 題
(B 日 程)

国 語

注 意

- 1 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 「開始」の合図で、1/5から5/5まで問題が印刷されていることをたしかめなさい。
- 3 解答用紙に受験番号を書きなさい。名前を書いてはいけません。
- 4 答えはすべて解答用紙の指定された解答らん^①に書きなさい。問題用紙に書いても得点になりません。
- 5 解答用紙はこの表紙のうらにあります。
- 6 「終了」^{しゅうりょう}の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。
- 7 問題および解答用紙は机の上に置き、持ち帰ってはいけません。

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

We shall never know all the good that a simple smile can do
単なる笑顔であつても想像できないほどの可能性があるので(著者訳)

*これはマザー・テレサの言葉です。笑顔の効果は古くから心理学的に調べられています。楽しい感情には、問題解決を容易にしたり、記憶力を高めたり、集中力を高めたりする効果があることが報告されています。笑う門には()来る——笑顔を積極的に利用することは、よりよい生き方に繋がります。

笑顔の効果として、まず社会的影響が強いことが挙げられます。「笑顔を見るのは心地よい」のは共通した心理でしょう。楽しそうに笑っている人を見るのは、よほど偏屈な気分でないかぎり、嫌な気にはならないものです。

そしてもう一つ。笑顔は感染します。こんな奇妙な実験が行われています。平生からあまり笑わない、どちらかといえば仏頂面で近寄りたいたいタイプの人を笑わせるにはどうしたらよいかという実験です。どんなに冴えたギャグでも100%の「カクリツ」で笑わせることはできません。かえって不機嫌にさせてしまうこともあるでしょう。こんなときは隣に座って、ただ根拠もなくケラケラと笑い続けるというのが、もっともカクジツな方法です。

「怒れる拳、笑顔に当たらず」という諺があります。怒って拳を振り上げても、相手が笑っていると殴れない、という意味です。こそが笑顔の力。笑顔はコミュニケーションにおける最強の武器です。

ところが研究が進むと、笑顔は、それを見る人(笑顔の受信者)だけでなく、笑顔を作る人(笑顔の発信者)にとつても、よい心理効果があることが明らかになってきました。

*まず独オット・フォン・ゲーリケ・マグデブルグ大学のミュンテ博士らの論文を紹介しましょう。

イラストを見てみましょう。

女性が箸を口にくわえています。左図は横にして歯で噛んでいます。右図はタテにして唇で挟んでいます。

箸を横にくわえると(左)、表情筋の使い方が笑顔と似ています。決して笑っているわけではありませんが、強制的に笑顔に似た表情になるのです。(a)、たてにくわえると(右)、沈鬱の表情になります。

ミュンテ博士らは、笑顔に似た表情をつくると、ドーパミン系の神経活動が変化することを見いだしています。「ドーパミン」は脳の報酬系、つまり「快楽」に関係した神経伝達物質であることを考えると、楽しいから笑顔を作るといふより、笑顔を作ると楽しくなるという逆因果が、私たちの脳にはあることがわかります。

実際、図のような二つの表情をつくってマンガを読み、マンガの面白さに点数を付けていくと、同じマンガであっても箸を横にくわえたほうが高得点になることが知られています。

⑤さらに驚くことがあります。次のリストを見てください。

おいしい 死 親切 ほめる 負ける 笑う 失敗 暗闇 遊園地 ……

これらの単語が「楽しい」と「悲しい」のどちらの感情に属するかを分類してみましょう。箸を横にくわえると、楽しい単語を「楽しい単語だ」と判断するまでの時間が、悲しい単語を「悲しい単語だ」と判断する時間よりも短くなることがわかりました。つまり、笑顔は楽しいものを見いだす能力を高めてくれるということです。

笑顔が、「A」フィルター³の役割があるとは、なんとなく不思議な気もしますが、これをウラ付けるデータが「ボトックス」の実験から得られています。

美容に興味のある女性であれば、ボトックスをご存知でしょう。肌の老化を防ぐとされる魔法の物質です。

実際には、ボトックスは食中毒の原因として知られるボツリヌス菌の毒素です。この食中毒は、症状が軽微な場合は四肢の麻痺ですみませんが、ひどい場合には呼吸ができず死に至ります。つまり、ボトックスは筋肉を弛緩させる作用があるのです。

この毒素を顔に注射すると、顔面筋の動きが鈍ります。だからシワができにくくなります。これが老化予防の「ゲンリ」です。表情が多少乏しくなるという欠点がありますが、美貌の劣化を恐れる富裕層や芸能界を中心に広く用いられています。

そんなボトックスの効果に関して、南カリフォルニア大学のニール博士が、興味深いデータを報告しました。ボトックスを使用すると、相手の感情を読みにくくなるということです。

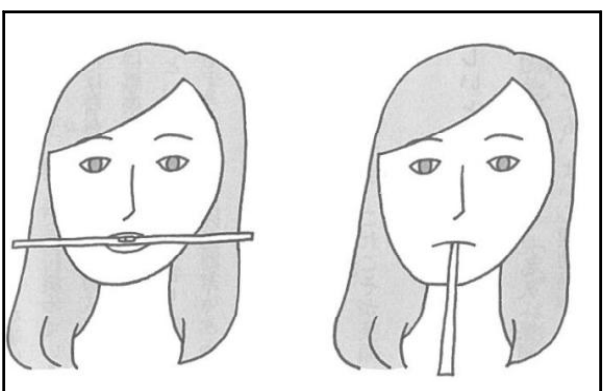
ニール博士は、総勢126人の参加者にさまざまな表情の写真を見てもらい、その表情から、「楽しい」や「悲しい」などの感情を読み取ってもらいました。その結果、ボトックスを顔に注射すると、表情を読み取る能力が低下することがわかりました。

ニール博士はこのデータを「無意識のうちに相手の表情を模倣しながら、相手の感情を解釈している」と説明しています。笑顔の人を見て、「楽しそうだ」と感じるのは、なんとも自明で、問うまでもない気がしますが、実際にはまったく自明ではないということです。

赤ちゃんに微笑みかけると、笑顔で返してきます。この事実からもわかるように、そもそも私たちヒトは、相手の「シグサ」を真似する癖があります。とくに共感している相手には、無意識に似た動作をするようです(いや、真似するから共感するという側面が強いのかもしれませんが)。

表情から感情を読むときも、たとえば「笑顔」をしている相手を見たら、自分もその表情をわずかに真似してみるわけです。(b)、笑顔の効果で、自分の感情が楽しくなります。「真似したら、楽しくなった」ということは、相手は楽しかったのか」と、そんな推論を重ねて、私たちは相手の感情を読んでいるわけです。

こう考えれば、笑顔が他人に伝染したり、笑顔を作ると楽しい単語の判断が早くなったりという不思議なデータも納得できるのではないのでしょうか。



そんな驚くべき一連のデータを眺めていると、年配者の笑いジワは、なんと素敵な人生の勲章なのだろうと感じてきます。きつと「B」に囲まれて生きてきたのでしょうか。

(c)、タイダン中に相手がコーヒーを飲んだらこちらもカップに手を伸ばしたり、相手が頬づえをついたらこちらも頬づえをついたりなど、さりげなく相手の行動を真似すると、相手からの好感度が増すことが知られています。サルでも自分の真似をしてくれる人を好きになるといいますから、真似は種を超えて心を近づけ合う力があるといつてよいでしょう。

(池谷裕二『脳には妙なクセがある』)

*マザー・テレサ……カトリック修道女。貧しい人や病人、孤児のために献身的に働いた。

*独……ドイツ。

*逆因果……原因と結果が逆になること。

*弛緩……ゆるむこと。

問一 線部1〜6のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 線部①「笑う門には()来る」について、次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) ()にあてはまる漢字一字を答えて、ことわざを完成させなさい。

(2) 次のⅠ〜Ⅲの()にあてはまることばを漢字で答えて、それぞれのことわざを完成させなさい。

Ⅰ ()ずるより産むがやすし Ⅱ ()は寝て待て Ⅲ 待てば()の日和あり

問三 線部②「社会的影響が強い」とありますが、それを説明したものとして最も適当なものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

ア 様々な問題を解決しやすくしてくれるということ。 イ 周囲の人の気持ちまで快くしてくれるということ。

ウ 周りにいる人も一緒に笑わせてくれるということ。 エ 偏屈な性格の人さえなごませてくれるということ。

問四 線部③「こんなとき」とありますが、どのようなことかを二十字以内で説明しなさい。()。「」は字数に数えます。()

問五 線部④「ミュンテ博士らの論文」とありますが、この論文で紹介された内容を次のようにまとめました。(Ⅰ)〜(Ⅲ)にあてはまることばを本文中から探し、それぞれ五字以内で書きぬきなさい。()。「」は字数に数えます。()

この実験から、(Ⅰ)に表情筋を笑顔に似せただけで(Ⅱ)につながる神経伝達物質が分泌されることがわかる。つまり、私たちは(Ⅲ)ことで楽しい気分になっていると言えるのである。

問六 (a)〜(c)にあてはまることばを次のア〜カから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

(同じ記号は二度使えません。)

ア そして イ つまり ウ 一方 エ だから オ ちなみに カ すると

問七 線部⑤「さらに驚くことがあります」とありますが、どのような実験結果に驚いたのですか。次の文の()にあてはまるように、本文中のことばを用いて十五字以内で具体的に説明しなさい。()。「」は字数に数えます。()

箸を横にくわえると、()

()に早く反応するという実験結果。

問八 「A」にあてはまる最も適当なことばを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

ア 楽しさと悲しさの事象を選別する イ 楽しさと悲しさの事象を交換する ウ 明るく朗らかな事象を創造する

エ 明るく朗らかな事象を収集する

問九 線部⑥「ボトックスを使用すると、相手の感情を読みにくくなる」とありますが、その経緯を次のようにまとめました。(Ⅰ)〜(Ⅲ)にあてはまるように、本文中のことばを用いてそれぞれ十字以内で答えなさい。()。「」は字数に数えます。()

ボトックス使用時	ボトックスを使用していない時
顔に注射をすると(Ⅰ)状態になってシワはできにくくなるが、自分の(Ⅱ)。	意識をしないが、前にいる人の(Ⅲ)。
←	←
(Ⅲ)ことが難しくなる。	推論を重ねて、相手の感情を読んでいる。
←	
相手の感情が読みにくくなる。	

問十 線部⑦「実際にはまったく自明ではない」とありますが、どういうことを説明したものとして最も適当なものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

ア 笑顔の人を見るとつられて笑いたい気持ちになるが、まだその理由が証明されたわけではないということ。

イ 笑顔の人を見るとつられて笑いたい気持ちになるのは、相手に合わせようと意識するからだということ。

ウ 笑顔の人を見るとこちらまで楽しい気分を感じるの、単に相手の表情を見たからだけではないということ。

エ 笑顔の人を見るとこちらまで楽しい気分になったように感じるが、実際はそうならないということ。

問十一 「B」にあてはまることばとして最も適当なものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

ア 笑顔の人々 イ 笑顔にさせる魔法 ウ 笑顔にまつわることば エ 笑顔の効果

問十二 線部「想像できないほどの可能性」とありますが、笑顔のどのような可能性について述べられていますか。本文全体の内容をふまえて、六十字以内でまとめなさい。()。「」は字数に数えます。()

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「わたし」(美貴)は私立の清凜女子学院から公立中学校に進学したが、家庭の経済的な事情で学校をかえたため、友だちには出身校を内緒にしていた。

「それで、どうしていまさらわたしの事情をばらしたりしたの。朝からわたしに怒ってみたいだけど、わたし、なにか気にさわることもした？」

「それは、美貴があんなこと書くから……」

わたしは「あんなこと？」と(あ)をひそめた。すると梢は責めるような瞳でわたしを見つめてこたえた。

①「……公民館の、七夕飾りの短冊。清凜に帰りたいって、あれ美貴が書いたんでしょ」

ああ、とため息まじりの声もれた。勉強会が解散したあと、わたしはこっそり公民館にもどって、短冊に願いを書いていた。意味がないことはわかっていても、書かずにはいられなかったのだ。誰にもわかりはしないだろう、と高をくくっていたのが間違だった。

まあ、もうどうだっていいけど。そんなふう to 投げやりな気分であえていたら、梢がうつむいて続けた。

「あの短冊を見つけたとき、すごく悲しかった。あたしはもうすっかり美貴と友達のもりだったのに、美貴はずっともとの学校に帰りたいかっただって。あたしたちのことなんて、なんとも思っ てなかったんだって。それでいらして、あんな……」

そう話す梢は本気で傷ついているようで、わたしは動揺してしまった。顔を上げた梢の目には涙のつぼが浮かんでいて、それを見たわたしはとっさに、梢に(い)を向けていた。(中略)

自分の部屋に引っこむと、カバンをランボウに放りだして、畳に倒れた。畳のにおいがいつもより(う)について、口で浅く息をしていた。

廊下で最後に見た、梢の顔。あのときたぶん、梢はわたしに謝ろうとしていた。だけどべつに、謝らなくてもいい。絶対に謝らせたりしない。――(A)

「……せいせいしたわ、ほんと」

わたしは声に出してつぶやいてみた。なのに頭に浮かんでくるのは、なぜか梢たちといっしょにいたときのことばかりだった。教室でのおしやべり、公民館の図書室の棚に積まれたおすすめの本、にぎやかにはしやぎながら短冊を吊るすみんなのスカタ。

②違う、そうじゃない。教室で孤立しないためにつきあっていただけで、わたしは本気であの子たちと仲よくなりたかったわけじゃない。無理に仲よくならなかつたて、わたしのほんとうの友達は、清凜にちゃんというる。

寝転がったままカバンをさぐって、携帯を取りだした。電源を入れて、画面をじつと見つめる。けれどきょうもまた、メールは届いていなかった。

いや、たしか清凜の中等科の期末テストは、七月になってからだった気がする。だとしたら、いまごろみんなテスト勉強で忙しくて、メールをしている暇もないのだろう。――(B)

わたしは自分に言い聞かせた。――(C)

次の日から、わたしはひとりになった。教室でも部活でも、誰ともつきあわなくなった。ときどき梢が話しかけようとしてくるのがわかつたけど、わたしは頑なに気づかないふりをした。

朋華も高梨さんも沢村さんも、わたしに関わってはこなかつた。関わりあいを拒絶する空気を、わたしが発していたせいかもしれないけど、もともと彼女たちは梢の友達だ。梢と仲違いをしたわたしと仲よくなる理由はない。

せいせいした。そんなふう to 強気でいられたのは、最初のうちだけだった。

清凜女子学院に通っていたころは、友達がたくさんいた。こっちに来てからも、梢がすぐに仲間のワに入れてくれた。自ら望んでひとりになつてはじめて、わたしはひとりであることの寂しさを知った。

ひとりぼっちのまま数日が過ぎて、七夕の日になった。公立の中学でも、七夕の給食には七夕ゼリーが出るものらしい。それはカミセイのカップに入つた白いゼリーで、トッピングに星型の小さなゼリーが二個、申し訳程度に載つていた。

「……安っぽい」

わたしは誰にも聞こえない声でつぶやいた。それから、去年までの七夕ゼリーは、と思いだそうとして、もういいかげん嫌になった。

どんなに強く願つたところで、どうせもうわたしは、清凜にはもどれない。だからこうやっていちいちあのころといまをくらべるのは、ただ無意味につらくなるだけだ。

わたしはため息をついて、食パンに塗るイチゴジャムの小袋を開けようとした。するとそのとき、梢が「ねえ」とわたしに声をかけた。話をする気はなかつたのに、反射的にそちらを向いてしまうと、梢は遠慮がちに言った。わたしの七夕ゼリーを指差して。

「それ、くない？」

わたしは啞然として梢の顔を見つめた。梢は上目遣いにわたしの返事を待っていた。

驚きとあきれがいらだちに変わり、けれど嫌だと返事をするのも癪で、わたしはゼリーのカップをランボウに梢の給食のトレイに置いた。ありがと、と梢が言ってきたけど、わたしはそれを無視した。

まったく、あきれてももの言えないとはこのことだ。いくら食い意地が張っているといったって、よりにもよつてわたしの給食をほしがるなんて。

胸の中でXの言葉をならべながら、イチゴジャムの袋を千切ると、いきおいよく飛びだしたジャムがトレイを汚して、頭がカッと熱くなつた。けれどYはすぐに冷えてしぼまり、同時にわたしの心も暗く落ちこんだ。

……どうして、あんなにつつげんどんにわたししたりしてしまつたんだろう。気づけばわたしはそうZしていた。しょうがないなあ、と苦笑いでも浮かべて手渡していれば、それをきっかけに梢と仲なおりできたかもしれないのと。

強がってごまかすことはもうできなかった。梢と仲なおりがしたい。朋華たちともまた仲よくつきあいたい。それはわたしの本心だった。たしかに梢はわたしが隠していたことをばらした。だけど、もともと悪いのはわたしだ。最初の理由がなんだって、梢はずっとわたしにやさしくしてくれた。わたしをひとりにしないしてくれた。なのにわたしはつまらない意地を張つて見栄を張つて、梢のことを傷つけて……。

そんなことはもうとつくにわかっていたのに、それでもまだ梢のことを避け続けている自分に、シンソコ嫌気が差した。給食に手もつけず、机の下でぎゅっと両手を握りしめていると、騒々しいまわりの声が急速に遠ざかっていくのを感じた。

自分が泣きそうになっているのがわかった。けれど涙があふれるスズンで、「美貴」とわたしの名前を呼ぶ梢の声が耳に届いた。

梢のほうを向いたときには、無意識にまた不機嫌な表情になってしまっていて、わたしは心の中で自分をなじった。だけどわたしの不機嫌顔は、梢の持った皿を見た瞬間、驚きで塗りつぶされていた。

その皿のまんなかには、カップから丁寧に取られた七夕ゼリーが載っていた。しかもゼリーのまわりは、たくさん星型のトッピングで飾られ、皿にはイチゴジャムでお洒落な模様が描いてあった。

その模様とトッピングのデザインには見おぼえがあった。勉強会のように見た、高級スイーツの写真とそっくりだったのだ。

「うおっ、なんだその豪華ゼリー！」

足立くんが驚きの声をあげた。すると朋華が横から、「すごいでしょう、梢シェフのスペシャル七夕ゼリーよお」と自慢する。

「美貴、これ、美貴に……」

梢がおずおずとゼリーの皿を差しだしてきた。

「えっ、なんでわたしに……」

「その、この前のお詫びについて……美貴、すごく怒ってるだろうから、どうしたら許してもらえるか、みんなにそうだったんだ。それなら朋華がアイデアを出してくれて……」

梢が横目でもなりの朋華を見た。わたしもつられて朋華に視線を移すと、朋華はしつこく顔で言った。

「ほら、お金で買ったものをあげるのもなんか違うでしょ、この場合。それでいろいろ考えたんだけど、このあいだ美貴があ的高级スイーツの写真をすごく熱心に見てたから、こういうのなら喜んでくれるんじゃないかなあ、って思ってた」

わたしは言葉を失ったまま、再び梢の顔を見た。梢は目を伏せて、わたしに謝ってきた。

「この前は、ごめん。美貴がつかいののはわかってたのに、勝手にいらついで、美貴がヒミツにしておきたいことをばらしたりして……」

「違う、梢はなにも悪くない。なのにお詫びなんてもらえないわ」
わたしはとっさにそう言っていた。けれど梢は、「いいから、あたしが美貴にあげたいの。だから、はい」と、ゼリーの皿を差しだしてくる。

わたしはためらいがちにその皿を受け取った。ゼリーを飾る星型のトッピングは、全部で十個あった。トッピングはひとつのゼリーに二個。梢と朋華のゼリーからは、トッピングがなくなっていた。さらにとなりの班に目をやると、高梨さんが恥ずかしそうにほほえみ、沢村さんがいつもの無表情のまま親指を立ててみせた。それを見たわたしは、もう涙をこらえきれなくなってしまった。

「どうよ美貴、こんなデザート、さすがに前の学校でも出なかったんじゃないの？」

朋華のおどけた科白に、わたしはうん、とうなずいた。当たり前だ。こんな特別なメニュー、どんな学校の給食だって、食べられるわけがない。

「ありがとう……それに、ごめんなさい」

ずっと言えなかったその言葉が、自然とわたしの口からこぼれた。にじんだ視界で梢の顔を見つめると、梢はほっとしたような笑みを浮かべていた。

足立くんがわざとらしく聞いてきた。

「いやあ、すっげえなあ、それ。おれのと交換しねえ？」

「……だめ、これは絶対あげない」

涙まじりの笑顔でこたえると、わたしはゼリーをスプーンですくい、イチゴジャムのソースをつけて口に運んだ。

甘酸っぱい味と、ひんやりした食感が口の中に広がる。その味と食感を大切に味わってから、わたしは「おいしい」とつぶやいた。この学校に来てから、給食をおいしいと感じたのはこれがはじめてだった。

問一 〓線部1〜7のカタカナを漢字に直しなさい。
(如月かずさ『給食アンサンブル』)

問二 〓線部a〜cの(あ)(う)には、体の一部を表すことばが入ります。あてはまることばをそれぞれ考えて、〓線部a〜cの慣用句を完成させなさい。

問三 〓線部①「ああ、とため息まじりの声もれた」とありますが、その理由を説明したものとして最も適当なものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

ア 前の学校にはもう帰れないのでどうだって良いと投げやりになっている気持ち、梢に見すかされていたから。

イ 誰にも気づかれないだろうと思って公民館の短冊に書いていた正直な気持ちを、梢に知られていたから。

ウ 梢たちとの勉強会が終わってからみんなには内緒で自分だけ公民館にもどったことを、梢に気づかれていたから。

エ 自分の本当の気持ちとはうらはらに大切な友だたと嘘をついていたことを、梢にさとられていたから。

問四 (A) (C) にあてはまる最も適当な表現を次のア〜オから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。
(同じ記号は二度使えません。)

ア みつともないくらい必死に。 イ そんなに早く、忘れられてしまったの？ ウ そう、きつとそうに違うない。

エ 胸がとっても痛むけれど……。 オ これでもう、友達ごっこを続けたいですむんだから。

問五 〓線部②「違う、そうじゃない」とありますが、このときの「わたし」の気持ちを説明した次の文の(Ⅰ) (Ⅲ) にあてはまることばを考えて、それぞれ指定された字数で答えなさい。() 「」は字数に数えます。

わたしは(Ⅰ 二十字以内)を思い出して(Ⅱ 五字以内)気持ちになったが、(Ⅲ 二十字以内)と自分を説得しようとしている。

問六　　〰線部 d 「啞然」・ e 「つつけんどん」・ f 「したり顔」の本文中の意味として最も適当なものを次のア～エから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | | | | | | | |
|---|--------|---|---------------|---|---------------|---|-------------|
| d | 啞然 | ア | 失望してぼんやりするさま | イ | 不自然であやしむさま | ウ | 突然で驚くさま |
| e | つつけんどん | ア | 落ち着きがなくなわてるさま | イ | 礼儀をわきまえていないさま | ウ | 冷淡でとげとげしいさま |
| f | したり顔 | ア | 得意気な表情 | イ | 何でも知っているような表情 | ウ | 照れくさそうな表情 |
| | | エ | 行動があらあらしいさま | | | エ | 思いつめた表情 |

問七　　X　　〱　　Z　　には心情を表すことばが入ります。最も適当なことばを次のア～キから選び、それぞれ記号で答えなさい。
（同じ記号は二度使えません。）

ア　動揺　　イ　怒り　　ウ　悲しみ　　エ　後悔　　オ　葛藤　　カ　軽蔑　　キ　恐れ

問八　　――線部③「美貴がつらいのはわかったのに、勝手にいらついで」とありますが、梢はなぜ「いらついで」いたのですか。その理由を説明したものとして最も適当なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア　美貴がひみつにしておきたい事情を自分がばらしてしまい、つらい気持ちにさせてしまったことを知っていたが、美貴が自分たちとの関わりを拒絶するような態度を示しているように感じたから。
- イ　美貴がこの学校に進学してきた理由を自分がばらしてしまい、つらい気持ちにさせてしまったのはわかるのだが、美貴が前の学校の友達のことばかりを思い出して、自分たちに心を開いていないように思われたから。
- ウ　美貴は自分の望まない事情でこの学校に来たため、前の学校への未練を残していつらい気持ちでいることを知っていたが、それをはっきり示されると、友人である自分たちの存在が無視されたように感じたから。
- エ　美貴は家庭の都合で急に学校を変えざるをえなかったため、つらい気持ちになるのはわかるのだが、いつまでも前の学校と今の学校とを比較して、自分たちをばかにしているように思われたから。
- 問九　　――線部④「当たり前だ。こんな特別なメニュー、どんな学校の給食だって、食べられるわけがない」とありますが、「わたし」がどのように感じたのはなぜですか。四十字以内で説明しなさい。（、。　「」は字数に数えます。）
- 問十　本文に登場する人物について、考察をしながらノートに整理することにししました。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。
- (1)　（ I ）　〱　（ IV ）　には、登場人物の人物を説明したことばが入ります。最も適当なものを後の語群ア～クから選び、それぞれ記号で答えなさい。（同じ記号は二度使えません。）
- (2)　最後の場面における「足立くん」の役割について、メモとして書き加えました。（ V ）　にあてはまることばを考えて、十五字以内で答えなさい。（、。　「」は字数に数えます。）

「登場人物についての考察」

○主人公

美貴……（ I ）。

○友人たち

梢……グループの中心的人物。（ II ）。

朋華……梢の友達。発想が柔軟で、ひょうきんなどところのある人物。

高梨さん……梢の友達。穏やかで、はにかみ屋な人物。

沢村さん……梢の友達。（ III ）。

○クラスメート

足立くん……（ IV ）。

【メモ】「足立くん」の役割について気づいたこと。

「足立くん」の振る舞いが、美貴や梢たちの（ V ）　ことに一役買っている。

【語群】

- | | | | |
|---|---------------------------|---|------------------------|
| ア | 口数が少なく、周りの目を気にする繊細な人物 | イ | おおらかだが、実は傷つきやすい人物 |
| ウ | お調子者だが、雰囲気を感じて場を盛り上げられる人物 | エ | 淡々としていて、クールな人物 |
| オ | 根は素直だが、つい意地を張ってしまう人物 | カ | 軽はずみなどところがあるが、行動力の高い人物 |
| キ | 明るい、周囲に対する配慮に欠ける人物 | ク | 意志が強く、プライドが高い人物 |

問一

1	カクリツ
2	タテ
3	ウラ
4	ゲンリ
5	シグサ

問二

6	タイダン
問二	(1)
(2)	I
II	
III	

問三

問四

問五	I
II	
III	

問六

a	
b	
c	

問七

問八

問九

問十

問十一

問十二

問九

問十

問十一

問十二

問一

問二

1	ランボウ
2	スガタ
3	ワ
4	カミセイ
5	シンソコ

問二

あ

い

う

問三

問四

A

B

C

問五

I

II

問六

d

e

f

問七

X

Y

Z

問八

問九

問十

(1)

I

II

III

IV

(2)

受験番号

1	カクリツ	縦	確率	6 タイダン	対談
2	タテ				
3	ウラ				
4	ゲンリ	裏	付ける	I	(1) 福
5	シグサ				
		原理	仕草		問二 (2) 案 II 果報 III 海路

イ		問四	
い	平	い	平
人	生	人	生
を	か	を	か
笑	ら	笑	ら
わ	あ	わ	あ
せ	ま	せ	ま
る	り	る	り
と	笑	と	笑
き	わ	き	わ
	な		な

I

強
制
的

II

「
快
楽
」

III

笑
顔
を
作
る

a
ウ

b
カ

c
オ

い	悲	よ り 、 楽 し	問八	エ	問十	ウ	問十一	ア
単	し							
語	い							
の	単							
方	語							

顔
面
筋
の
動
き
が
鈍
つ
た

表情が多少乏しくなる

表情を模倣する

め	の	に	作	る	周
た	を	さ	る	だ	囲
り	見	せ	本	け	の
す	い	た	人	で	人
る	だ	り	を	な	を
可	す	、	楽	く	楽
能	能	楽	し	、	し
性	力	し	い	笑	く
。	を	い	気	顔	さ
	高	も	分	を	せ

乱暴	1 ランボウ
姿	2 スガタ
輪	3 ワ
紙製	4 カミセイ
心底	5 シンソコ

問二

あ

まゆ

い

背

う

鼻

イ

問四

A

オ

B

ウ

C

ア

I	
稍	
た	
ち	
と	
い	
っ	
し	
よ	
に	
楽	
II	
悲	
し	
い	

Ⅲ		Ⅰ	
達	わ	し	梢
は	た	く	た
清	し	過	ち
凜	の	ご	と
に	ほ	し	い
い	ん	た	っ
る	と	と	し
	う	き	よ
	の		に
	友		楽

問七	問六	Ⅱ
X	d	悲
Y	e	
Z	f	

問七	問六
X	d
カ	エ
Y	e
イ	ウ
Z	f

問七

X

力

Y

イ

Z

エ

問九

ウ

(1)

Ⅲ	Ⅰ		
エ	オ		ウ
Ⅳ	Ⅱ		
ウ	カ		

問九

が	は	ピ	た
詰	、	ン	く
ま	友	グ	さ
っ	達	さ	ん
て	の	れ	の
い	温	た	星
た	か	ぜ	型
か	い	リ	で
ら	思	ー	ト
。	い	に	ッ

が	は	ピ	た
詰	、	ン	く
ま	友	グ	さ
っ	達	さ	ん
て	の	れ	の
い	温	た	星
た	か	ぜ	型
か	い	リ	で
ら	思	ー	ト
。	い	に	ツ

(2)

に	気
す	持
る	ち
	を
	い
	っ
	そ
	う
	素
	直

受	験	番	号